



ご案内

本日はご多用の中、しそく教育フェスティバルにご参加いただきありがとうございます。

しそく教育フェスティバルは、『いきる つながる みちひろく ～自立と連帯・共生の学びと教育～』をメイン・テーマとして開催します。分科会では、宍粟市内の学校が、日々子どもたちととりくんできた教育実践の成果を持ち寄り、よりよい教育をめざして、互いに意見を出し合い交流を深めます。教職員のみならず、保護者の皆さまや地域の方々とともに考え合う場にしたいと願っています。また、全体会の後には防災に関する専門家を講師として招いての講演会も予定しております。

どうぞ最後までご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

兵庫県教職員組合 宍粟支部
支部長 谷尻 恒博

日 時: 8月20日(土) 8:30 開会
場 所: 山崎小学校(分科会)
防災センター(全体会・講演会)
日 程: 8:00～8:20 受付
8:30～10:30 分科会
～ 移動 ～
10:40～10:55 全体会
10:55～12:25 講演会
12:25～12:30 閉 会

子ども工作体験コーナー

ちぎってはろう!

きれいな色紙を手で自由にちぎって、絵を作ってみましょう!!

場所: 山崎小学校 図工室

時間: 8:30～12:30

※校地内は禁煙となっておりますのでご協力をお願いします。

※「全体会・講演会」の会場は防災センターですので、速やかに移動をお願いします。

※児童・生徒作品(図工作品など)を防災センター全体会会場に展示しています。

※IDカードとアンケートにつきましては、講演会終了後、出口にて回収させていただきます。
(アンケートは、後日お子さんを通じて学校へ提出していただいても結構です。)

講演会について

演題 「災害と向き合うこどもたち」

講 師 兵庫県立松陽高校教諭 諏訪 清二(すわ せいじ)先生

～ 講師紹介 ～

兵庫県立舞子高校環境防災科は、阪神・淡路大震災の教訓を受けて、2002年全国で唯一の防災の専門科として設置されました。諏訪先生は、設置当初から同科科长として、全ての授業を一から考え、現在までに多くの卒業生を送り出してこられました。先生は、「被災者でなければ語り継げないのなら、100年後はだれも語れない。被災していないからこそ、伝えられることもある」として、被災体験のない「未災者」が果たす役割があることを強調されています。その中で、特に、「BOSA1とは自分で考え、伝え、行動すること」を重視し、「若い人が防災に興味を抱くような場所づくりに貢献したい」と語っておられます。同学科の卒業生の中には消防士や看護師など災害、防災に携わる仕事を選ぶ人が少なくありません。神戸で誕生した防災の教えは諏訪先生のもとで確実に次世代に受け継がれています。現在は兵庫県立松陽高校に勤務されています。